



聞かせてください 神さまと出会った時のこと 〜エマオへの道で〜

第5回 大久保 武 神父
(姫路西ブロック)

長崎から就職で明石に出てきた父が、母と出会った。明石教会で受洗。初聖体に日曜学校。勉強が終わると、静かな聖堂を通り抜け、聖書百週間に参加していた母を呼びに行った。そして、堅信。有馬志朗神父から聞いた「愛」の話は、勉強後におごってもらったラーメンの味とともに記憶に残っている。クリスマスには、家族で教会に行った。子ども時代、「神様と出会った」という実感はなかったが、

大人になり、小さなころの体験の意味を知った。高校生のとき、母が亡くなる。お母さんは神様のもとの行ったのだと、素直に思えた。その後、兄が日曜学校を手伝うようになり、自分もリーダーとなった。教会に復帰し、神様と再会した。幼いときから、いつも教会に連れていってくれた母が、私の信仰の土台を築いてくれていた気がする。20代、フスト・セグラ神父の「祈りと生活の作業

とはどんな存在なのかと考えるようになり、神様は「信じる人を自由にしてくれる存在」だということに気づいた。どんな選び方をしても、何があっても、肩の力を抜いた状態で日々を過ごさせてくれる、それが神様だと。

当時、プログラマーとして働いていたが、教会と関わる仕事がしたいと考え始めた。教区の神父様に相談すると、「今どき、神父以外に教会と関わる仕事はないよ」と。しかし、神父なんて、気軽になっていないものじゃないし、誰でもなれるものでもない。しばらく考えた。

私は、石原広吉神父に大きな影響を受けた。こんなに優しい人はいない。私の召命について「10年くらいゆっくり考えたらいい」と言っておられたが、しばらくして、石原神父が亡くなられたとメッセージが届いた。その瞬間、「自分の順番が回ってきた」と思った。神父様の見せてくれた優しさを自分が受け継ぐ、そんな気持ちだったのかも。不思議な確信が沸きあがった。

場」という信仰講座に参加する。そこで初めて、生活の支えとなる信仰の感覚を知った。神様に優しく感じる人がいるのだと、特別な存在だった。私の召命について「10年くらいゆっくり考えたらいい」と言っておられたが、しばらくして、石原神父が亡くなられたとメッセージが届いた。その瞬間、「自分の順番が回ってきた」と思った。神父様の見せてくれた優しさを自分が受け継ぐ、そんな気持ちだったのかも。不思議な確信が沸きあがった。

自身に直面させられた。それでも、一人で思い詰めることなく、最後には神様がいいようにしてくださるだろうと考えることができた。司祭をしながら、神様のすばらしさを感じる。「この人は、いま神様と出会っているんだ」と感じるのは、自分が司祭になつたから。それを伝える一人と出合い、話し、励ましていくことが宣教なのだと思う。

自分の分を受け取って帰りたい。わたしはこの最後のものにも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。
(マタイ 20・14)

【6月のお話より抜粋。
サクラファミリアで偶数月に開催中】

【ハインリッヒ中野正勝神父様 叙階金祝の会】

6月17日(土)11時から大阪カテドラル聖マリア大聖堂でハインリッヒ中野正勝神父様の金祝のミサに120人以上の方が集まり行われた。お祝い会には前田万葉枢機卿様が参加され、二人でケーキカットもしていただいた。みんなで「次はダイヤモンド祝でお会いしましょう」と言って閉会した。

カトリック墓地 納骨堂・納骨所 使用者募集

大阪教区の信者の方のみがお申込みいただけます。詳細は資料をお送りさせていただきます。ほか、インターネットでもご覧いただけます。

資料請求やお問い合わせは
教区本部事務局
総務課 管理部門
☎ 06-6941-9705



ひとりで悩まないで 〜私たちに聴かせてください〜 カトリック大阪大司教区 ハラスメント相談窓口

※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。

電話番号:06-6941-9718

相談窓口受付時間

月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時〜午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。
秘密は必ず守られます。

「生きる」―難民移住者

ともに歩む

私が関わる海外出身の人びとの中には、迫害の国から逃れる難民だけではなく、どうしても本国に戻れない事情を持つ人も含まれます。ある韓国人の母がまさにそうでした。



韓国は経済面でも文化芸術面でも活気のある社会です。日韓で人の往来も活発な今の時代に、その母は在留許可を得る見込みがないまま大阪の片隅で生きていました。私たちは裁判などの支援をしてきましたが、万策尽きてしまい、支援を巡ってたびたび話し合いがもたれました。韓国の教

育事情を考えると、このものためにはできるだけ早く本国の学校に通う方が入管にできる支援があるかもしれない。その日、上官と母親が何を話したかは書きませんが、母親は「もう死にたかった」と言

住機関(IOM)を紹介し、母子はIOMを通して安全な渡航と帰国直後の生活援助を受けることになりました。

入管の担当官、IOMの職員、各自がそれぞれの役割にしかできない力を発揮し、立場の弱い母子に根気よく接し解決に導いてくれました。清々しい笑顔とともに出発ゲートに向けて彼女たちがともに歩む姿を称えて、私は手を振り続けました。
(文 シナピス事務局
ピスカルド篤子)

教区の皆様

カトリック大阪大司教区
事務局長 崔周永

大阪高松大司教区設立式と

トマス・アキナス前田万葉新大司教着座式のお知らせ

十主の平和

去る8月15日に教皇フランシスコにより設立された大阪高松大司教区の設立式とトマス・アキナス前田万葉新大司教着座式の日時が決まりましたのでお知らせいたします。日時のみになりますが、ご予約に入れていただきたくお知らせいたします。当日は、多くの方が来られることが予想されます。カテドラルの駐車場は利用できませんので公共交通機関を利用してお越しください。

式の詳細等は、あらためてご案内いたします。

記

日時 2023年10月9日(月・スポーツの日) 13時より

場所 大阪カテドラル聖マリア大聖堂

なお、設立される大阪高松大司教区の司教座聖堂は大阪カテドラル聖マリア大聖堂に、事務局は現大阪大司教区事務局になります。ただし、新宗教法人としての開始日は、今後関係省庁と協議の上進めていく予定ですので、改めてお知らせいたします。それまでは両教区(宗教法人)がこれまで通り業務を継続いたします。

ヨゼフ・アバイヤ司教 (福岡教区) 講演会

日時: 2023年9月30日(土)

13時30分~16時

場所: サクラファミリア 聖堂 (3階)

大阪市北区豊崎3-12-8

TEL 06-6225-8871

テーマ: 「シノドス 共に歩むために」

〜賜物を活かしよう共同体〜

費用: 無料

申込: 不要

主催 大阪教区使徒職養成委員

TEL 06-6941-9700

